



平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 多摩市立西愛宕小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 206-0041
多摩市愛宕4-52

E-mail : daihyo-nisiatago-sho@city.tama.ed.jp

Website : http://www.tama.ed.jp/w-ata/

児童生徒数：男子 名 女子 名 合計 名
児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 国際理解

【コミュニケーション能力の向上】

小中合同英語発表会；全校児童参加で英語劇、歌、ゲーム等を楽しみながら英語に親しむ活動をした。5年生が「かにむかし（猿蟹合戦）」を6年生が「かさ地蔵」を英語で演じた。司会も5・6年生が英語で行った。

中学生は、映像を使ってユーモアを交えながら小学生の気持ちをひきつける演出を工夫して英語クイズをしてくれた。中学生の書いたクイズの台本を見ると、びっしりと小学生への温かい配慮事項が書かれていた。中学生と合同の英語発表会を始めて2回目。自分自身も体験している中学生が意欲をもって来てくれるので前回より自信をもち、楽しんでできる様子が伺えた。

また、指導には、恵泉女子学園大学の教員、学生が協力してくださり、地域の大学と連携することにより活動の充実が図れた。

英語活動を通して異学年との交流、中学生との交流、地域の大学生・教員との交流が図れ、コミュニケーション能力の向上につながった。

地域との交流；下記のように自国理解・尊重の学習で地域の人材を活用することにより、地域の高齢者と関わる場面が作れた。他にも例えば、行事の案内を出したり、地域の方達の作品を作品展に飾ったり、子ども祭りでコーナーを作っていたり、朝顔の苗を差し上げたり（咲いた朝顔の花の写真をお礼状と共にいただいた）、放課後教室の見守りをしていただいたりして交流を深め、高齢者と温かく心のこもったコミュニケーションができるようになってきている。

【自国文化の理解・尊重】

室町体験；地域の人材を活用し、日本の伝統文化である華道と茶道を体験した。

華道体験に使う植物を、学校の庭から見つけさせることにより、自分の学校の自然に目を向け、美しいと感じる心を育て、伝統文化を身近に感じさせることができた。

畳、掛け軸、着物、茶道具等で茶室を作り、自分達で活けた花を飾った。伝統文化を色濃く感じる空間の中で茶道体験を行った。お点前をいただく子ども達は、きちんと正座をし、お作法に則って挨拶し、真剣なまなざしで貴重な体験をした。

七輪体験；毎年地域のお年寄りを招いて交流を行っているが、その中にお年寄りから学ぶプログラムとして七輪体験を入れている。火のおこし方、火消しつぼの活用等先人の知恵も学ぶ。

豆腐作り体験；ユネスコ無形文化遺産となった和食の良さについて、特に大豆製品と和食に焦点を当て、総合的な学習の時間で学びを深めた。共通体験として日本の大豆文化に触れる学習の中で豆腐作りを保護者と一緒に行い、味わった。

折り紙教室；地域の公共施設で活動している折り紙教室の先生に、年6回折り紙の指導に来ていただいている。クリスマス、七夕、雛まつり等季節や行事に応じた題材を選んでご指導くださっているので楽しみながら技を磨き、作り方を家族に教えたり、自宅に作品を飾ったりして家庭でも日本の伝統文化の良さを味わっている。

2 環境問題

グリーンカーテン；環境に優しい方法で夏を涼しく快適に過ごすための工夫を学び、実践した。日本の伝統的な「打ち水」「すだれ」「うちわ」「風鈴」「木造家屋」「浴衣」等の工夫を調べ、その良さについて話し合った。共通体験としては、ゴーヤを栽培してグリーンカーテンを作り、その効果について調べた。

省エネキャンペーン；環境について基礎的な知識を学ぶと共に、学校や家庭生活における水や電気の無駄遣いについて調査を行い、問題を整理し対策を考え、6年生が全校に呼びかけて省エネに向けて全校で取り組む。

3 平和・人権

平和と学ぶ権利；学校図書館にノーベル平和賞受賞者の「マララ・ユスフザイさん」のコーナーを設置した。新聞記事も使いながら、平和と貧困、学ぶ権利、ジェンダーフリー等の視点から話し合いを進めた。また、寺子屋運動、少年兵士等に触れながらユニセフ活動も行った。

車いすバスケット；パラリンピアンを招き、車椅子バスケットの技を観たり、車いす体験をしたり、シュート対決のゲームをしたりして交流深めた。パラリンピックについてもその意義について説明していただいた。障がい者スポーツの実際に触れ、全ての人々がスポーツを楽しむ権利があること、全ての人々が楽しめる社会を築くために自分達ができることは何かを考えることの大切さを実感させることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）